

【草花の部屋】

ツボサンゴ（ユキノシタ科ツボサンゴ属 Heuchera）

和名：ツボサンゴ（壺珊瑚） **別名**：ヒューケラ、コーラルベル

英名：Coral bells

ユキノシタ目 常緑多年草 **原産地**：北アメリカ

花言葉：恋心、繊細な思い、きらめき、辛抱強さ **花の色**：赤、白、桃、緑



← 写真-1 ツボサンゴ

撮影日：2004年04月27日

撮影場所：M邸(大和郡山市)にて

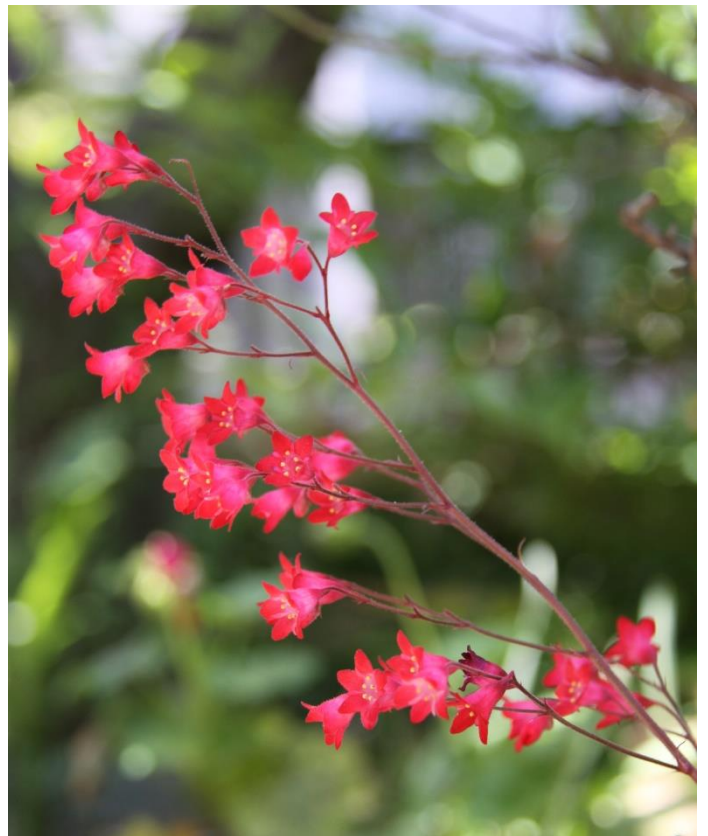
撮影者：Mさん

↓ 写真-2 ツボサンゴの花

撮影日：2010年05月16日

撮影場所：M邸(大和郡山市)にて

撮影者：Mさん



ヒューケラは、北アメリカを原産とする、ツボサンゴ属の植物の総称です。草丈20～80cmに生長し、1年を通して様々な美しい色の葉っぱを茂らせます。また、多年草で、寒さで枯れてしまっても春には新芽を生やし、何年も育てることができます。

カラーリーフプランツとして、品種によって多様な葉の色を持つ植物。植物の名前は、花の姿が宝石の珊瑚のように見えることからだそうです。5～7月上旬にかけて、葉の間から伸ばした茎の際に、ベル型の小さな花を咲かせます。ただし、花卉のようにみえるのは萼の部分で、花はその中の小さなもの。

日当たりのよい場所を好みますが、夏は半日陰になる場所が適しています。葉をメインで楽しむのであれば通年半日陰で十分。肥沃な水はけのよい乾燥しない土の場所を好みます。花を楽しむのであればやや乾燥した場所、葉を楽しみたい場合はあまり乾燥しない場所というように植栽場所を吟味します。少し暑さには弱いですが、地植えは乾燥しすぎなければ夏もそのまま乗り切り、鉢植えは遮光や半日陰に移動して管理すると良いそうです。